

1 . 緑地の保全及び緑化の目標

1 - 1 基本理念と将来像

(1) 基本理念

桐生市は市域の7割以上が山林で、市街地には渡良瀬川や桐生川、山田川等の清流があり、水と緑に恵まれたまちは市民が誇りとするものである。

これらの緑は、大気浄化とともに地球温暖化の防止、自然の多様な生態系の維持、災害の防止等の役割をはじめ、レクリエーションや自然とのふれあいの場の提供、うるおいのある都市景観の形成等において重要な役割を果たしている。特に針葉樹と広葉樹の複層混交林は水源をかん養し、本市の環境保全の上で特に重要となる「清流」を守る役割をもっている。さらに、緑は健康で明るく情操豊かな人づくりのうえからも大切なものである。

このように重要な役割と機能をもっている緑を保全・育成していくことが、健康で快適な生活環境を確保していくうえで重要であると多くの市民が感じている。

このためには、緑の重要性を一人一人の市民が認識し、市民・事業者・行政がお互いに協力しあって緑のまちづくりを推進していく仕組みをつくり、市民参加を含めた総合的な施策の展開を図ることが必要である。

本計画は以下の理念に基づき、市民が誇りを感じ、来訪者にとって住みたくするような、魅力あるまちをつくるための指針となるものである。

- まちと人と自然を守る緑 -

環境保全機能

- ・大気を浄化する
- ・地球温暖化を防止する
- ・動植物の生息空間となる
- ・水源をかん養する

防災機能

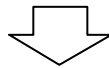
- ・災害時の避難場所、避難路になる
- ・火災の延焼を防ぐ
- ・風水害を防止する
- ・騒音を軽減する

レクリエーション機能

- ・健康な心と体をつくる、運動・休養・散策の場となる
- ・心に安らぎを与える
- ・日常生活での自然とのふれあいにより季節を感じる
- ・地域の交流、コミュニティを活発にする場となる

景観構成機能

- ・美しいまちなみをつくる
- ・地形、歴史、文化的特徴をあらゆる都市のシンボルとなる
- ・個性的でうるおいのあるまちをつくる



< 緑のまちづくりの理念 >

美しい緑の山々と清らかな川の流れによる自然環境をみんなの財産として守り育てよう

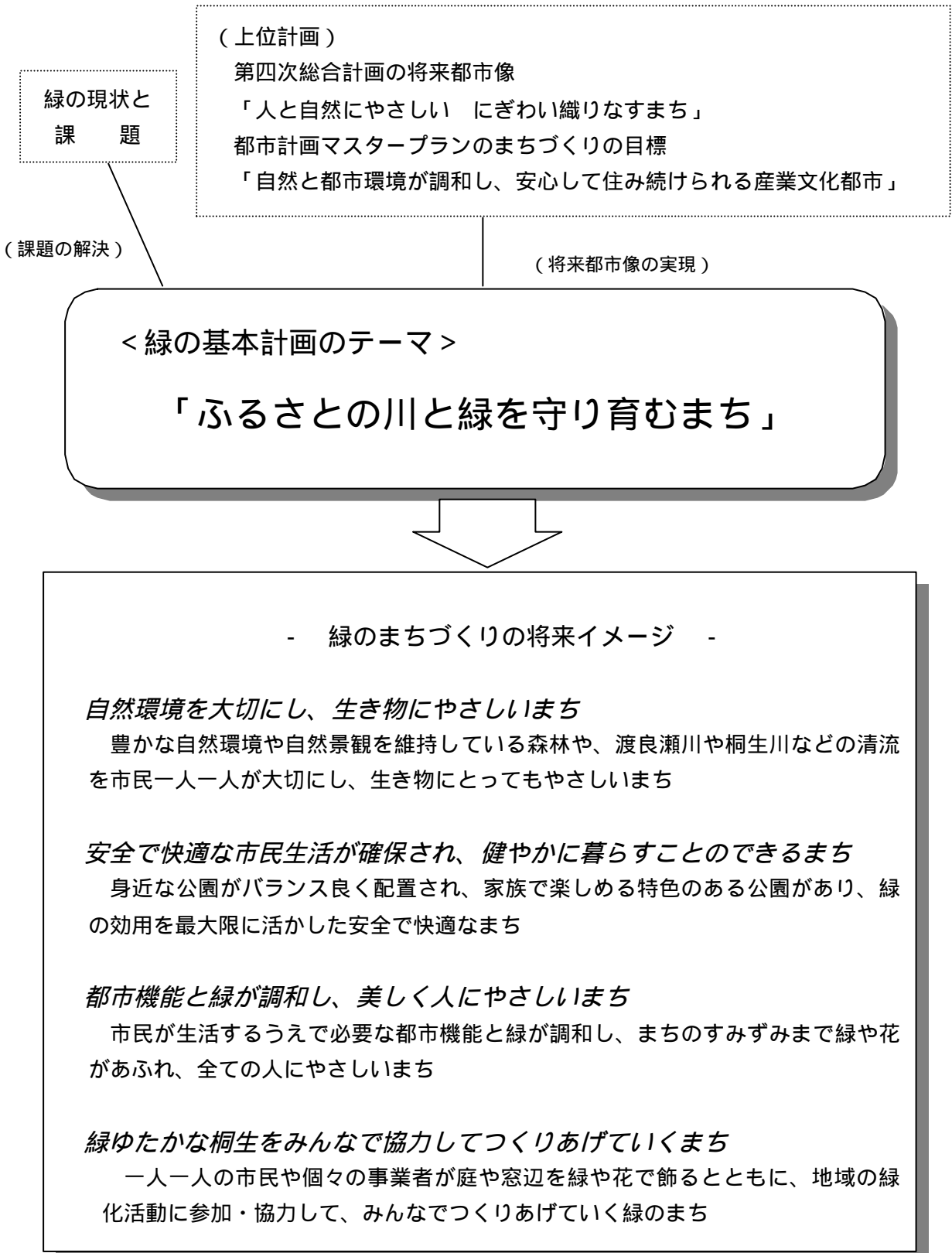
花と緑に囲まれた快適で安心して暮らせるまちをつくろう

自然とのふれあいの場をふやし、豊かな心を育む緑のまちをつくろう

市民・事業者・行政が力を合わせて緑を守り、育てよう

(2) 緑の将来像

緑の果たす役割や本市における緑の状況と課題を踏まえ、桐生市第四次総合計画及び桐生市都市計画マスタープランで掲げている将来都市像を実現するため、緑の基本計画では次の将来像を設定する。





緑の将来像図